【資料1】

平成30年度
秋田県地域年金展開事業
事業結果

令和元年７月

日本年金機構
Japan Pension Service

秋田年金事務所
（秋田県代表年金事務所）

目　次

１	地域連携事業	Ｐ２
２	地域相談事業	Ｐ６
３	年金委員活動支援事業	Ｐ８
４	年金セミナー事業	P12
５	地域年金推進員委嘱事業	P17
６	年金セミナー王	P18
７	秋田県地域年金事業運営調整会議	P19
８	「ねんきん月間」、「年金の日」の取組	P21
９	「わたしと年金」エッセイについて	P22
１０	各年金事務所の取組状況	P24

1　地域連携事業

（1） 事業の取組状況

① 自治体との連携

・ 市町村職員を対象とした国民年金事務新任担当者研修会や国民年金事務担当者研修会を開催しました。また、同じ研修を複数回行うことにより、担当者のみなさんが参加しやすい環境づくりに努めました。

事務所名	平成29年度 実施回数	平成29年度 出席人数	平成30年度 実施回数	平成30年度 出席人数
県全体	1回	37人	1回	41人
秋田	2回	18人	3回	20人
鷹巣	1回	12人	3回	29人
大曲	2回	63人	2回	29人
本荘	1回	18人	1回	7人
合計	7回	148人	10回	126人

・ 国民年金制度の外国語版リーフレット（9か国語）を、全市町村に設置依頼。

・ 市町村の国民年金事務担当者に対し、情報誌「かけはし」を発行（隔月奇数月）し、制度、事務手続き、各種お知らせの周知を図るとともに広報誌への公的年金制度の周知に関しての掲載依頼を行いました。

・ 秋田市役所の待合において、事務所職員によるねんきんネット申し込みのご案内をさせていただきました。
・ 市町村職員のみなさんから、500件を超えるねんきんネットの申し込みをいただきました。

② 関係団体との研修会・説明会・広報の実施
定期的に打合せを実施し情報共有を図るとともに、共催による研修会・説明会の開催、各関係団体主催による研修会・説明会へ講師派遣を行いました。

団体名	29年度 実施回数	30年度 実施回数	開催年金事務所	内容
一般財団法人秋田県社会保険協会	8回	8回	全年金事務所	年金制度の概要、社会保険事務手続き
秋田県社会保険労務士会	32回	12回	全年金事務所	マイナンバーによる届出と様式変更、事務センター集約、届書様式変更情報について
秋田労働局（及び協会けんぽ共催）	7回	7回	全年金事務所	算定基礎届、年金制度の概要について

・ 隔月毎に秋田県社会保険協会主催の広報編集会議に参加し、「社会保険あきた」に記事の提供を行い、全国健康保険協会秋田支部と共に、社会保険制度の改正点等を中心に、事業所への周知を図りました。
・ 秋田県社会保険労務士会とは、毎月打合せを行い、街角の年金相談センター秋田（オフィス）の運営や各年金事務所の年金相談窓口と市町村等における出張年金相談窓口の委託をし、お客様にとって身近で便利な窓口とするための連携を図りました。
・ 秋田労働局とは、定期的に打合せを行い、算定基礎届の説明会と労働保険年度更新説明会の合同開催及び社会保険・労働保険徴収事務連絡協議会の開催等、協力・連携を図りました。

- 職域型年金委員の多くが所属する秋田県社会保険委員会連合会とは、各地区において管轄の年金事務所と連携を図り、研修会講師の派遣等の他、「予約相談の拡充」や「ねんきんネット」の利用拡大及び「委員等表彰式」などのご協力をいただきました。
- 地域型年金委員が所属する秋田県地域型年金委員会とは、県内全体及び各地区において研修を行う等、活動の支援を行いました。また、委員からの要請により、町内会長が集まる会議で「ねんきんネット」の利用拡大を周知する機会を設けていただく等、ご協力をいただきました。

③ 秋田県商工会連合会、各商工会議所との連携

- 秋田県商工会連合会を訪問し、「年金の予約相談のご案内」のポスターやリーフレットを県内の各商工会に設置していただくよう依頼し、ご協力が得られました。能代・大館商工会議所にも設置を依頼し、協力していただきました。秋田商工会議所では、ホームページにねんきんネットのリンクを載せていただいております。

④ 報道機関との連携

- 「秋田魁新報社」から年金セミナーの取材及び「北羽新報社」から秋田県年金委員・健康保険委員・事業主表彰式の取材を受けました。
- 報道機関22社へ「わたしと年金」エッセイ募集、「ねんきん月間」及び「年金の日」、「年金委員・健康保険委員・事業主表彰式」、「地域年金事業運営調整会議」等の周知・協力要請を行いました。

⑤ 秋田県健康福祉部との連携

- 国民生活基礎調査の後続調査として、令和元年度において3年に一度行われる公的年金加入状況等調査（統計調査）で、調査員の募集・選定及び委嘱契約について、健康福祉部において組織している、国勢調査等の調査員をご紹介いただき、本調査のご協力を行っていただくこととなりました。

（2） 総括と今後の対策

総括	今後の対策
①自治体との連携 市町村からの声を受け、国民年金事務担当者研修会について、同じ内容の研修を複数回行うことにより、同部署の担当者が交代で研修を受けることが可能となり、より多くの方に研修を受けていただくことができました。	①自治体との連携 今年度の取組を継続しつつ、アンケート結果を参考に充実した研修内容に努めます。 また、外国人の方の利便性を高めるよう、外国語での発信を含む情報誌等を中心に情報提供・情報交換を積極的に行って参ります。
②関係団体との研修会・説明会・広報の実施 従来の取組が継続的に行われており、例年通り、各関係団体と定期的な打合せを行いながら実施できました。	②関係団体との研修会・説明会・広報の実施 関係団体等すべての組織が、業務逼迫傾向にある環境においても、連携を密にして前年並みの実施を継続できるよう取り組みます。
③秋田県商工会連合会、県内商工会議所との連携 秋田県商工会連合会には、県内全域の商工会に、ねんきんネットの周知の協力を頂きました。また、県内商工会議所の広報誌への掲載については、十分な依頼を行えませんでした。	③秋田県商工会連合会、県内商工会議所との連携 県内商工会議所へは連絡回数等のアップを意識し、広報等連携を強化して行くとともに、秋田商工会連合会との連携も強化させて参ります。
④報道機関との連携 秋田魁新報社には、年金セミナーの取材を行って頂きました。また、こども新聞への年金制度掲載のご相談を行いましたが、読者層である小・中学生向けには難易度が高いとのことで、掲載に至りませんでした。	④報道機関との連携 年金セミナーの開催情報等を、今以上に提供させていただき、取材の機会を増やすことで、紙面上への掲載の可能性を増やすように努めます。

2　地域相談事業

（1） 事業の取組状況

① 市町村での出張相談

・ 各年金事務所において、事務所から遠方にお住いのお客様の利便性向上のための出張相談を実施しました。

事務所名	実施場所	実施回数	相談者数
秋田	男鹿市商工会（毎週木曜日）	49回	326名
鷹巣	能代市役所（毎週火、金曜日）、大館市役所（毎週月、木曜日） 鹿角市役所（毎週水曜日）	242回	3，018名
大曲	横手市役所（毎週火曜日） 湯沢商工会議所（毎週水曜日）	104回	780名

② ハローワークにおける離職者説明会での国民年金説明会の実施

・ ハローワークにおいて、国民年金の加入、納付、免除の手続きに関して離職者の方々への説明会を実施し、国民年金手続きの周知を図りました。

事務所名	実施場所	実施回数	参加人数
秋田	ハローワーク秋田（毎週水・木曜日）	104回	4，287名
鷹巣	ハローワーク鷹巣（隔週水曜日） ハローワーク鹿角（隔週木曜日）	63回	743名
大曲	ハローワーク大曲（毎週水曜日） ハローワーク横手（毎週木曜日）	102回	1，920名
本荘	ハローワーク本荘（毎週水曜日） ハローワーク本荘（求職活動支援セミナー、毎月1回）	64回	1，263名

③ その他の出張相談

- 大学構内での国民年金相談会を開催しました。（秋田大学、秋田県立大学）
- 秋田拠点センターアルヴェで行われた、一日合同行政相談所（秋田労働局等12機関参加）に、街角の年金相談センター秋田オフィス（全国社会保険労務士会連合会運営）と連携し参加しました。

（2） 総括と今後の対策

総括	今後の対策
①市町村等での出張相談 県内6カ所において、出張相談を行いました。全出張相談所において、秋田県社会保険労務士会及び全国社会保険労士会連合会と年度毎に委託契約を結び、かつ、市町村及び商工会から会場をお借りして、安定的な運営をしております。 ②ハローワークにおける説明会の実施 国民年金課職員に事務負荷はかかるものの、失業者への保険料免除及び納付猶予のPRは不可欠であり、免除・猶予件数に大きく影響している活動と捉えております。 ③その他商業施設等での出張相談 大学での開催では、大学側のご協力もあり、毎年コンスタントに開催できております。 一日合同行政相談所の参加においても、毎年コンスタントに参加させていただいております。	①市町村等での出張相談 事務所職員だけでは、すべての出張相談所の運営は難しく、一方高齢化の進む中、現在の出張相談所のネットワークを可能な限り維持できるよう、秋田県社会保険労務士会と定期的に人材確保・育成について、連携して取り組んで参ります。 ②ハローワークにおける説明会の実施 アシストハローワーク（事業所等での開催）の増加等、担当職員の事務負荷が増す中で、担当課である国民年金課の職員だけでなく、全所体制で取り組みが必要な事務所については、可能な限り対応して参ります。 ③その他商業施設等での出張相談 費用対効果の面で、新たな取り組みは難しいと考えます。現在の教育機関及び一日合同行政相談所参加への確実な実施を行って参ります。

3　年金委員活動支援事業

（1） 事業の取組状況

① 年金委員への研修会実施状況

- 職域型年金委員に対しては、全国健康保険協会秋田支部及び一般財団法人秋田県社会保険協会と共催し研修会を開催、各地区社会保険委員会が主催する研修会等へ講師を派遣し、年金制度の概要や制度改正についての周知を図りました。また、毎年11月に開催する年金委員表彰式に併せて研修会を実施しました。
- 地域型年金委員に対しては、秋田県全体の総会の後に実施する研修会の他、各年金事務所毎に「連絡会」を開催するとともに「地域型年金委員活動の手引き」、「支えあい～年金委員だより～」の配付、活動支援のポスターやリーフレットを情報提供しながら、地域での制度周知や広報を依頼しました。

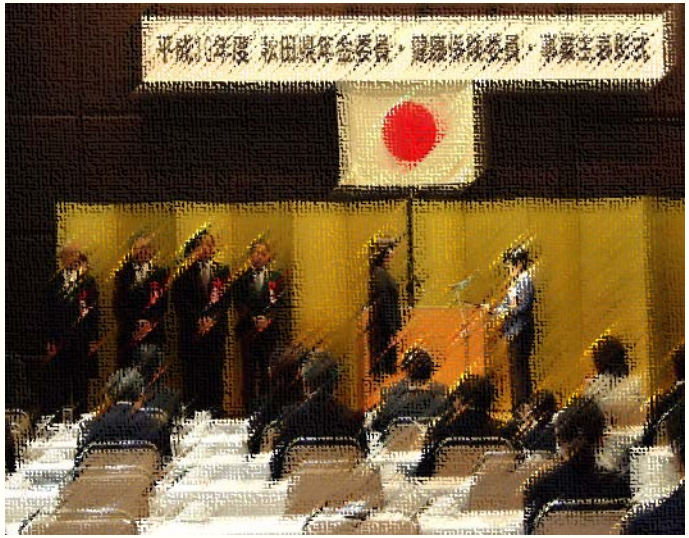
事務所名	職域型			地域型		
	29年度	30年度	参加者数	29年度	30年度	参加者数
県全体	1回	1回	70名	1回	1回	21名
秋田	2回	5回	289名	1回	2回	13名
鷹巣	3回	2回	38名	1回	3回	21名
大曲	3回	5回	328名	3回	3回	24名
本荘	2回	3回	129名	1回	1回	6名

② 年金委員表彰の実施

・ 多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々を対象に、年金委員功労者表彰伝達式を全国健康保険協会秋田支部、一般財団法人秋田県社会保険協会との共催により開催いたしました。開催状況は下記のとおりです。

・ 開催日　平成30年11月16日（金）
　開催場所　ホテルメトロポリタン秋田
　表彰対象　厚生労働大臣表彰　　1名
　　日本年金機構理事長表彰　4名
　　日本年金機構理事表彰　10名

　　表彰式出席者　130名



年金委員表彰式の様子

秋田・鷹巣・大曲地区研修会の様子

・ 研修会の実施

　表彰式終了後、秋田・鷹巣・大曲地区は同会場において合同で、本荘地区は本荘の会場に移動し、研修会を開催いたしました。

　また、研修会終了後は両会場共に、委員さん同士や出席者との意見交換を行いました。

③ 年金委員の委嘱拡大に向けた取組

- 市町村、秋田県社会保険労務士会、秋田県年金受給者協会に対し、地域型年金委員制度の周知及び委嘱の推薦の依頼を行いました。
- 従業員数が、20名から30名の職域型年金委員未設置事業所に対し、委嘱の勧奨文書を送付いたしました。
- 職域型年金委員に委嘱されていた方への退職による委嘱の辞退届送付時に、地域型年金委員への勧奨文書を同封しました。
- 新規適用事業所設置手続きの際、窓口で職域型年金委員委嘱の勧奨を行いました。

事務所	職域型			地域型		
	29年度末	30年度末	増　減	29年度末	30年度末	増　減
秋田	499名	507名	8名増	32名	31名	1名減
鷹巣	321名	315名	6名減	41名	35名	6名減
大曲	511名	489名	22名減	41名	28名	13名減
本荘	187名	186名	1名減	21名	13名	8名減
合計	1，518名	1，497名	21名減	135名	107名	28名減

（2） 総括と今後の対策

総括	今後の対策
①職域型年金委員について 一般財団法人秋田社会保険協会及び全国健康保険協会秋田支部、秋田労働局と定期的な連携が図られており、安定的な研修の開催ができています。 秋田年金事務所以外の委員数が前年度より減少しており、地区ごとの委員拡大の方策を図る必要があります。 本荘年金事務所では、女性向けの研修会を開催するなど、特徴的な研修を行っています。	①職域型年金委員について 今後も、一般財団法人秋田社会保険協会及び全国健康保険協会秋田支部、秋田労働局と連携し、安定した開催を行います。 また、研修参加者を増やすために、研修の回数だけでなく、開催時期や時間について、最適な日程を設定します。新任担当者向けの研修については、要望も多く、引き続き全県で行います。 委員数拡大のため、各事務所とも文書による委嘱勧奨回数を例年より多く行います。
②地域型年金委員について 地区毎の連絡会の開催が計画通り実施できず、次年度の課題と捉えております。 また、昨年12月に任期である3年目の委員さんに更新の意向確認を行ったところ、該当者が多く、辞退者も多かった。関係団体のご協力を得ながら、委員拡大の方策を図る必要があります。	②地域型年金委員について 各事務所共に、四半期に一度の連絡会の開催を目標とし、秋田県地域型年金委員会の役員の方を中心とし、連絡体制を強化しながら、取り組んで参ります。 秋田県年金受給者協会、秋田県社会保険労務士会等、関係団体のご協力を柱に、委嘱拡大に努めます。

4　年金セミナー事業

（1） 事業の取組状況

① 年金セミナー開催に向けたアプローチ状況

- 秋田県教育委員会や秋田県高等学校長協会等の関係機関の協力を得て、中学校、高等学校へ年金セミナーの周知を図っていただきました。
- 各年金事務所において、大学、短大、各種学校、高等学校、中学校に対して年金セミナー開催に向けた協力要請（アプローチ）を行いました。

〇アプローチ実施状況

事務所名	大学、短大	各種学校	高等学校	中学校	合計
秋田	8校	16校	17校	11校	52校
鷹巣	2校	4校	22校	0校	28校
大曲	0校	2校	17校	0校	19校
本荘	1校	1校	6校	0校	8校
合計	11校	23校	62校	11校	107校

② 年金セミナー実施状況

- 上記アプローチ（107校）を行った結果、次頁の実施状況となりました。

〇事務所別実施状況　※(　　)内は開催回数

事務所名	平成29年度	平成30年度
秋田	19校(20回)	20校(21回)
鷹巣	3校(3回)	8校(8回)
大曲	5校(6回)	7校(8回)
本荘	3校(3回)	5校(5回)
合計	30校(32回)	40校(42回)

〇教育機関別実施内訳　※(　　)内は参加者数

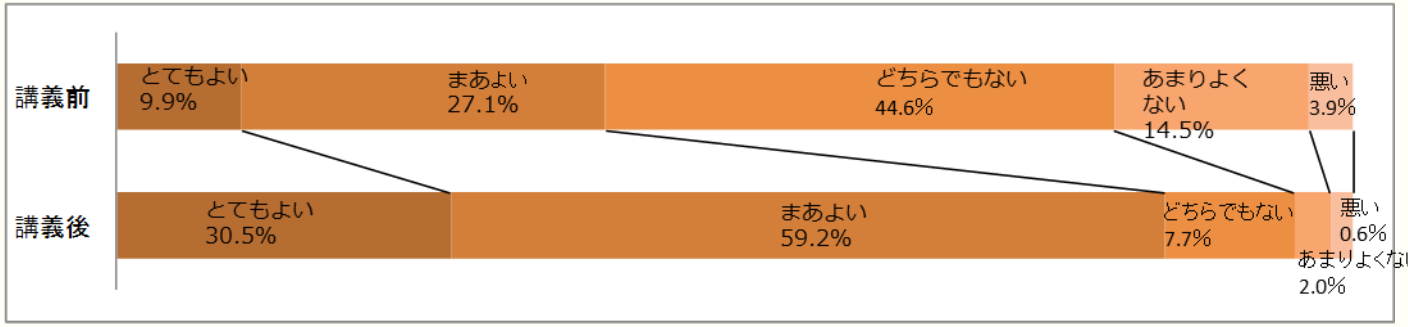
	平成29年度	平成30年度
大学・短大	4校(　446名)	4校(　461名)
各種学校	7校(　401名)	8校(　340名)
高等学校	18校(2，996名)	28校(3，330名)
中学校	1校(　32名)	0校(　0名)
合計	30校(3，875名)	40校(4，131名)

〇東北地域第二部　平成30年度　年金セミナー取組状況

※対象校数は、各県庁ホームページ等にて確認、中学校はアプローチした教育機関となります。

	青森県				秋田県				岩手県			
	対象校数	開催校数	開催回数	参加者数	対象校数	開催校数	開催回数	参加者数	対象校数	開催校数	開催回数	参加者数
大学・短大	18校	2校	3回	444人	13校	4校	4回	461人	14校	5校	6回	573人
専門学校 専修学校	42校	14校	14回	556人	25校	8校	9回	340人	47校	14校	18回	676人
高等学校	71校	50校	52回	6,096人	62校	28校	29回	3,330人	81校	26校	28回	2,339人
中学校	0校	0校	0回	0人	11校	0校	0回	0人	24校	3校	3回	36人
合計	131校	66校	69回	7,096人	111校	40校	42回	4,131人	166校	48校	55回	3,624人
推進員数	2名				3名				2名			

（２）年金セミナーアンケート結果　（年金に対するイメージ）



※「まあ良い」以上の評価が講義前の**37.0%**に対し、講義後は**89.7%**と大きく増加しました。

主なご感想

- 年金は若いときにしっかり払っておかないと年金をもらえないとの印象が強く、あまりいい印象はなかったけれど、障害や親の死亡時に助けてくれるものだと知り、少し印象がいいものになりました。自分もこの大学で4年間勉強をしっかりして、そして就職し、他世代の支援ができるように積み立てていこうと思いました。ありがとうございました。
- 正直年金に対してあまり良いイメージは無く、納付してもあまりもらえないくらいにしか考えてなかった。しかし、今回セミナーを受けて、年金制度の重要さを知ることができた。
- ネットでは年金に対して悪いことだけ書かれていて実際にどんなものなのかは分かっていなかったので凄くためになった。
- 私は年金についてしっかりとした知識がありませんでしたが、講座を聞いてやはり大事なものだと思いました。今日では高齢化が進み年金の負荷が大きくなったと聞きました。今は十分な年金をもらえますが私達の世代ではさらに若者が減り年金がもらえなくなってしまうのではないかというところが心配です。しかし、若者一人ひとりの負荷がおおきくなってしまうのも嫌だと思いました。年金のメリットデメリットを見直して対策をしてほしいです。
- 少子高齢化が進んでいる中で高い金額高い税金になったらちゃんと払えるかわからない。インフレがあるということはデフレもあるかもしれないのにたくさん払って低い年金になる場合はどうなるのか。６０から６５歳の間は貯金とかで生活しなければならないから、もう少し安くしたらどうなのか？
- セミナーの話を聞いてると、年金のもとを取るために長生きしろと言われてるようで、年金制度は必要ないと考えた。今リアルな数字を説明しても頭に入らないし、もっとねんきんのことをわかりやすく説明してほしかった。すくなくともまたは、元を取るために長生きしている老人には年金を払いたくないと思った。
- 賦課方式がとられる理由がわかり、すっきりしました。物価変動がポイントでした。
- 授業で年金についての内容をやったことはあったが、正直そんなに興味はなかったし、20歳になるまで時間があったため、該当者としての自覚になかったため20歳になった今、改めて話を聞くことができてよかったです。
- 障害年金は、心の病でも支給されることを初めて知りました。思ったよりも身近にある大切なものなのだと思いました。自分のためにも納めていきたいと思いました。
- 外人さん（日本に住んでいて働く人）も国民年金払うと聞いて、いい就職先つかまなきゃと思いました。

（3） 総括と今後の対策

総括	今後の対策
①アプローチについて 担当の先生が異動等で代わられることが多く、年度替わりに引き継ぎ等のお願いができなかった学校の後任の先生への新たなアプローチと、引き継ぎをして頂いていたケースでのアプローチでは、次年度の開催までの事務負荷に大きな差がでました。 ②セミナー実施について 地域年金推進員によるセミナー開催は順調に増えた半面、事務所職員によるセミナー開催が減った。セミナー専門の職員がいる体制ではない環境で、事務負荷軽減の観点からは、地域年金推進員がセミナーを担っていくのは効果的ではあるが、その反面事務所職員の経験値が下がってしまうこととなりました。	①アプローチについて 特に高等学校において、担当の先生等の異動を見据えた年度末における次年度開催へのアプローチを、計画的に取り組みます。 翌年度のアプローチには、前年度終盤（2月から3月）の活動が重要であり、この時期のアプローチを積極的に取り組みます。 ②セミナー実施について 教育委員会や高等学校長協会への協力要請及び年金セミナー開催校への取組を引き続き行いながら、開催できていない学校へのアプローチにおいて、地域年金推進員との連携を強化し取り組みます。 セミナー実施に際しては、事務所職員と地域年金推進員とのバランスをとりながら行って参ります。

５　地域年金推進員委嘱事業

年金セミナー事業を推進するために、教職員OB及び学校関係者の他、生徒に伝える能力があると拠点長が判断した人材を委嘱し、個別学校訪問形式にて年金セミナー活動を行いました。

- 秋田県内で定員枠である3名を委嘱し、活動を行いました。
- 活動エリアは、大曲年金事務所以外の3事務所において行っておりました。
- 教職員OB以外に、ファイナンシャルプランナー、社会保険労務士の方を委嘱しました。

事務所名	アプローチ	セミナーの実施
県全体	52校	25校
秋田	45校	20校
鷹巣	12校	0校
大曲	0校	0校
本荘	7校	5校

総括	今後の対策
鷹巣年金事務所で委嘱していた推進員の方が、諸事情にて更新せず、また新規での委嘱もなかったため、現在3名の定員枠に2名の委嘱となっており、年金セミナー事業推進可能な人材のリクルート活動を行う必要があります。 また、年金事務所職員のセミナー実施回数が減少しており、課題と考えます。	現在委嘱の2名の活動エリアが、秋田・本荘地区のため、秋田県枠が3名のままであれば、活動可能エリアを見据えながら委嘱活動を行って参ります。 また、年金事務所職員の講師育成の観点から、年金セミナー実施において、年金事務所職員とのバランスを考え、実施して参ります。

６　年金セミナー王

年金セミナーについて、実際の受講者や教育機関からの提案や要望を取り入れ、より質の高いものとすべく、各地域の年金セミナー担当者が互いの説明手法や資料の活用方法を共有し新たな発想を取り入れることにより、既存の資料や説明方法を改善するとともに、新しい資料や説明方法の展開と自身のプレゼンスキルの向上を図ることを目的として、全国規模による年金セミナー王決定戦を開催しました。

①地域予選（秋田県、青森県、岩手県）

日時：平成30年9月7日
場所：いわて県民情報交流センター　アイーナ
各事務所から事務所職員1組　合計13組
本選参加事務所　　花巻年金事務所

②本選（全国）

予選：平成30年10月25日
決勝：平成30年10月26日
場所：日本年金機構本部
15地域の予選勝者1組　合計15組
最優秀事務所　　熊本西年金事務所

平成30年度本選時表彰式の様子

③年金セミナー担当者会議

地域予選及び本選において、参加者の意見交換会を実施
・参考とすべき点や改善すべき点の発表
・新たな説明手法や説明資料の検討及び提案

7　秋田県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう地域における支援のネットワークを構築し、地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として地域年金事業運営調整会議を開催したところです。

平成30年度第1回会議
【 開催日 】 平成30年7月25日（水）
【 議事内容 】 平成29年度秋田県地域年金事業の結果について
平成30年度秋田県地域年金事業の計画について

平成30年度第2回会議
【 開催日 】 平成31年1月23日（水）
【 議事内容 】 平成30年度秋田県地域年金事業取組状況について
平成31年度秋田県地域年金事業計画（案）について

第1回会議の様子

第2回会議の様子

平成30年度第2回秋田県地域年金事業運営調整会議時の意見への対応

事業種類	ご意見の内容	対応状況
・地域連携事業 ・年金委員活動支援事業 ・地域年金事業運営調整会議	職域型年金委員の委嘱勧奨について、10名以下などの社員数の少ない事業所にも勧奨を行っていただきたい。	今後は少人数の事業所に対する委嘱勧奨にも取り組んで参ります。
	市町村の協力を得て、成人式で年金事業のPRをしてはどうか。	現在パンフレット配布等で協力いただいている市町村もありますが、今後取り組みの依頼を拡大して参ります。
	市町村との連携強化が必要ではないか。	市町村にアンケートを実施したうえで研修を行うなど、引き続き連携強化に取り組んで参ります。
	健康保険委員との突合は行っているか。事業所の情報交換をし、連携して委嘱拡大に取り組んではどうか。	現状では個人情報保護の関係もあり情報交換できるルートがありませんが、連携できるルートを模索し、委嘱拡大に取り組んで参ります。
	運営調整会議の委嘱拡充について、町村会等に相談してはどうか。	対象の町村を絞って委嘱拡充に努めます。
・年金セミナー事業	年金セミナーにおいて、学校によってどれだけ理解がはかられたのか分析はしているのか。また理解度によって内容を変えてはいかがか。	アンケートから全国的な分析等を行い、教材作成に活かしてもらえるよう委員の声として報告を行います。
	PTA等で保護者を対象にした年金セミナーを開催してはどうか。	年金セミナー対象者の拡大に取り組んで参ります。
	中学生以下にもセミナー等できるのではないか。	関係機関と協力連携のうえ、対象者の拡大に取り組んで参ります。

8　「ねんきん月間」、「年金の日」の取組

厚生労働省との連携により、１１月の「ねんきん月間」において、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しました。

また、１１月３０日（いいみらい）の「年金の日」には公的年金制度を身近に感じていただき、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的とした取組を実施しました。

「ねんきん月間」、「年金の日」の主な取組

事務所名	取組内容
県全体	・年金委員等表彰式の実施（１１月１６日）
秋田	・事務所内来客待合スペースにおいて平成29年度「わたしと年金」エッセイの入選作をパネル展示 ・秋田大学にて納付相談会を実施（２日間） ・職域型年金委員、地域型年金委員に対し研修を実施 ・「年金の日」に事務所への来客に対し予約相談及びねんきんネットのリーフレットを配布
鷹巣	・北秋田市内のショッピングセンター前において制度周知リーフレット等を配布 ・職域型年金委員に対し研修を実施
大曲	・大仙市市民活動交流拠点センターでパネル展を実施 ・「ねんきん月間、年金の日」について電光掲示板を利用した周知（いずれも１１月１２日～３０日） ・職域型年金委員に対し研修を実施
本荘	・由利本荘市内の大型スーパーにおいて制度周知リーフレット等を配布 ・職域型年金委員、地域型年金委員に対し研修を実施

９ 「わたしと年金」エッセイについて

年金制度の意義や公的年金制度と国民の結びつきなどについて考えていただくため、自身や、家族等の身近な方と公的年金制度との関りについてエッセイを募集しました。

平成30年度エッセイ募集ポスター

① 日程 ・募集期間 平成30年6月1日から平成30年9月14日
・下記受賞者への表彰状授与式の開催 平成30年11月30日
厚生労働大臣賞 1名
日本年金機構理事長賞 1名
優秀賞 3名
・入選者居住地を管轄する年金事務所にて表彰状授与式を開催
入選 5名

② 応募状況

	平成29年度			平成30年度			増減		
	一般	学生	合計	一般	学生	合計	一般	学生	合計
全国	91	803	894	119	1，035	1，154	28増	232増	260増
東北（再掲）	6	5	11	19	18	37	13増	13増	26増
秋田県（再掲）	1	0	1	2	1	3	1増	1増	2増

地域年金事業運営調整会議、「ねんきん月間」、「年金の日」の取組、「わたしと年金」エッセイについての総括と今後の対策

総括	今後の対策
○地域年金事業運営調整会議 現在１４名の委員の方で構成されておりますが、長らく出席枠を拡大しておらず、市町村及び関係団体に積極的な参加を促し、協力の要請が必要と考えます。	○地域年金事業運営調整会議 全市町村に働きかけるのではなく、絞り込んだ市町村及び関係団体に、委嘱の働きかけを行っていきます。実際の委嘱に先立ち、会議の傍聴を働きかけます。
○「ねんきん月間」、「年金の日」の取組 各事務所独自の取組も大切でありますが、全県で統一された活動も必要と考えます。	○「ねんきん月間」、「年金の日」の取組 全年金事務所においてねんきんネットのID取得件数アップのためPTを設け、担当課ではなく全所体制で周知活動を行って参ります。 また、１１月においても、ねんきんネットID取得に力を入れた取り組みを行います。
○「わたしと年金」エッセイについて 全県としては、昨年度より応募数は上回りましたが、微増に留まりました。 可能な限りの周知活動を行うとともに、応募件数の多い県、事務所等の活動を参考にした取り組みも必要と考えます。	○「わたしと年金」エッセイについて 制度説明会、出張相談会、各種研修会等において、ポスター掲示及び周知活動を行い、応募数の向上に努めます。 また、秋田県教育庁のご協力を得て、全県の高等学校等にリーフレットの配布を行います。

１０　各年金事務所の取組状況

秋田年金事務所

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.4	広報誌「社会保険あきた」の発行に際し、一般財団法人秋田県社会保険協会と連携し、全国健康保険協会秋田支部と共に、２ヵ月毎に広報編集会議開催 市町村より、被保険者の所得情報の定期的な提供 全国社会保険労務士連合会及び秋田県社会保険労務士会と定期的な連絡会の開催（通年） 秋田商工会議所の月刊誌商工会議所報あきたへ、制度改正等記事掲載の依頼 秋田魁新報社へ年金セミナーの取材を依頼	出張年金相談の開催 （毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者38名） 制度説明会 （毎週水・木曜日他 ハローワーク秋田　669名） 国民年金相談会の実施 （秋田県立大学 相談者　9名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （高校16校） 年金セミナーの実施 （日本赤十字秋田短期大学 受講者19名） （日本赤十字秋田看護大学 受講者114名） （秋田県立秋田北高校 受講者238名）	秋田県社会保険委員会連合会へ職域型年金委員委嘱拡大の依頼（通年） 秋田県社会保険労務士会及び、秋田県年金受給者協会へ地域型年金委員委嘱拡大の依頼（通年）	県内拠点長会議等における全国健康保険協会秋田支部との連携強化
30.5	情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の情報提供 労働保険年度更新及び算定基礎届説明会打合せ	出張年金相談の開催 （毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者39名） 制度説明会 （毎週水・木曜日 ハローワーク秋田　457名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （大学校2校、専門学校4校） 年金セミナーの実施 （ノースアジア大学　受講者80名） （秋田理容美容専門学校 受講者26名）		
30.6	秋田テルサにおいて管内事業所の事務担当者に対し制度説明を実施 （２回実施　出席者364名）	出張年金相談の開催 （毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者35名） 制度説明会 （毎週水・木曜日 ハローワーク秋田　342名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （短期大学3校、専門学校11校） 年金セミナーの実施 （第一学院高校　受講者34名）	地域型年金委員会総会実施後、研修会を実施 （出席者22名） 秋田地区社会保険委員会秋田支部において研修会実施 （出席者62名）	

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.7	県内市町村国民年金事務担当者研修会における制度説明の実施 （出席者41名） 管内8市町村に対し、ねんきんネット及び予約相談のチラシ配布を要請 布を要請　（配布数800枚） 秋田県柔道整復師会へねんきんネット及び予約相談のチラシ配布を依頼（配布数500枚） 一般財団法人秋田県社会保険協会主催の事業所新任担当者事務研修会へ講師を派遣 （出席者　55名） 情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の情報提供	出張年金相談の開催 （毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者43名） 制度説明会 （毎週水・木曜日 ハローワーク秋田　327名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （中学校5校）	年金委員表彰式及び研修会実施に向け、全国健康保険協会秋田支部、一般財団法人秋田県社会保険協会及び秋田県社会険委員会連合会と打ち合わせを実施	
30.8	ねんきんネット及び予約相談に関するチラシの設置及びポスターの貼り出し依頼 （秋田県商工会連合会加盟の各商工会、秋田商工会議所、秋田銀行の各店舗、北都銀行の各店舗、秋田信用金庫の各店舗、県内の農協、秋田中央郵便局、秋田県医師会、歯科医師会、薬剤師会） （チラシ配布枚数16,842枚）	出張年金相談の開催 （毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者41名） 制度説明会 （毎週水・木曜日 ハローワーク秋田　344名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （中学校4校）		
30.9	管内事業所において退職予定者への制度説明（出席者11名） 管内事業所より依頼があり障害年金についての研修会に講師を派遣 （出席者　２０名） 情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の情報提供	出張年金相談の開催 （毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者19名） 制度説明会 （毎週水・木曜日 ハローワーク秋田　333名）	年金セミナーの実施 （聖霊女子短期大学付属高校 受講者198名） （秋田ヘアービューティーカレッジ 受講者34名）	年金委員表彰式及び研修会実施に向け、全国健康保険協会秋田支部、一般財団法人秋田県社会保険協会及び秋田県社会保険委員会連合会と打ち合わせを実施	県内拠点長会議における全国健康保険協会秋田支部との連携

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.10	秋田県社会保険労務士会へねんきんネット利用促進の依頼 来所されたお客様へねんきんネット利用の勧奨を実施（97名） 第１回秋田社会保険・労働保険徴収事務連絡協議会 秋田魁新報社へ年金セミナーの取材を依頼	出張年金相談の開催 （毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者18名） 制度説明会 （毎週水・木曜日 ハローワーク秋田　341名） 一日合同行政相談所への参加 （秋田拠点センターアルヴェ 相談者４名）	年金セミナーの実施 （秋田情報ビジネス専門学校 受講者70名）		
30.11	管内市町村の国民年金事務担当者に向けた研修会を実施 （2回実施、出席者計13名） 情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の情報提供 管内市町村（３市、４町、１村）へ職員のねんきんネット利用促進の依頼（配布枚数6500枚） 秋田魁新報社へ年金セミナーの取材を 依頼	出張年金相談の開催 （毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者21名） 制度説明会 （毎週水・木曜日 ハローワーク秋田　311名） 秋田大学において学生を対象に相談会を実施 （2日間　相談者計40名）	年金セミナーの実施 （秋田市立秋田商業高校 受講者236名） （秋田県立秋田高校 受講者281名） 年金セミナー開催に向けたアプローチ （中学校２校、高校１校）	年金委員等表彰式及び研修会実施に向け、前回と同様に打合せを実施 県内の年金委員等を対象に表彰式を実施 （出席者　46名） 秋田地区大曲地区鷹巣地区合同の年金委員等研修会を実施 （出席者　70名）	ねんきん月間における事務所内ポスター貼り出し及び年金エッセイ入選作の展示
30.12	管内大規模事業所へねんきんネット利用促進の依頼（配布枚数750枚） 県内所長会議に全国健康保険協会秋田支部の参加	出張年金相談の開催 （毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者17名） 制度説明会 （毎週水・木曜日 ハローワーク秋田　238名）	年金セミナーの実施 （秋田クラーク高等学校 受講者85名） （秋田県立秋田工業高等学校 受講者209名） （秋田技術専門学校 受講者70名） （秋田県立秋田西高等学校 受講者130名） （秋田市立御所野学院高等学校 受講者38名）	委員委嘱拡大の取組み （職域型年金委員未設置事業所に対して文書による委嘱勧奨を実施　334件送付、地域型年金委員については秋田県内市町村長あて勧奨状を25件送付）	

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
31.1	管内事業所において離職者に対する年金制度説明及び相談を実施(48名) 厚生連９医療機関へねんきんネット利用促進の依頼 （配布枚数5,570枚） 情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の情報提供	出張年金相談の開催 (毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者２２名) 制度説明会 (毎週水・木曜日 ハローワーク秋田　337名)	年金セミナーの実施 (秋田和洋女子高等学校 受講者31名) (秋田公立美術大学附属高等学校 受講者26名) (聖園学園短期大学 受講者248名)		
31.2	管内事業所において離職予定者に対する年金制度説明及び相談を実施 (3回実施、71名)	出張年金相談の開催 (毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者19名) 制度説明会 (毎週水・木曜日 ハローワーク秋田３０５名)	高校及び中学校での年金セミナー開催に向けたアプローチ (秋田県教育委員会教育長)	一般財団法人秋田県社会保険協会評議会おいて研修を実施 (出席者32名) 一般財団法人秋田県社会保険協会において研修を実施 (出席者３０名) 秋田地区社会保険委員研修会において研修を実施 （出席者97名）	
31.3	管内事業所において離職予定者に対する年金制度説明及び相談を実施 (2回実施、３５名) 情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の情報提供 管内市町村の国民年金事務担当者に向けた研修会を実施 (出席者　7名) 公的年金加入状況等調査（統計調査）について、秋田県健康福祉部より調査員等、国民生活基礎調査のネットワークの連携のご協力	出張年金相談の開催 (毎週木曜日　男鹿市商工会 相談者１４名) 制度説明会 (毎週水・木曜日 ハローワーク秋田２８３名)	年金セミナーの実施 (秋田県立秋田明徳館高等学校 受講者197名) 年金セミナー開催に向けたアプローチ (大学１校、短期大学２校、専修学校１校)	ＪＲ東日本労働組合秋田地方本部主催「年金講話」講師 (参加者29名) 秋田県地域型年金委員秋田地区研修会を実施　(出席者10名)	

鷹巣年金事務所

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.4	秋田県社労士会県北支部主催の研修会において制度説明を実施 （出席者18名）	出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者121名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者123名） （毎週水曜日　　鹿角市役所 相談者 62名） 制度説明会 （毎週水曜日 ハローワーク鷹巣 63名） （毎週木曜日 ハローワーク鹿角 66名） 事業所において事業所閉鎖に伴う離職予定者を対象に制度説明及び相談を実施 （対象者　38名）		地区社会保険委員会鹿角支部総会で年金予約相談等の周知を協力依頼 （出席者15名）	
30.5	情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の情報提供	出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者108名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者 88名） （毎週水曜日　　鹿角市役所 相談者 62名） 制度説明会 （毎週水曜日 ハローワーク鷹巣 48名） （毎週木曜日 ハローワーク鹿角 31名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （高校3校）	地区社会保険委員会能代山本支部総会及び大館北秋支部総会で年金予約相談等の周知を協力依頼　（出席者44名） 鷹巣地区社会保険委員会合同役員会において年金予約相談等の周知を協力要請 （出席者18名）	
30.6	大館市民文化会館において管内事業所の事務担当者に対し制度説明を実施 （出席者153名） 能代市文化会館において管内事業所の事務担当者に対し制度説明を実施 （出席者 81名） 管内市町村新任担当者の研修会において制度説明を実施　（出席者11名）	出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者104名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者 90名） （毎週水曜日　　鹿角市役所 相談者 60名） 制度説明会 （毎週水曜日 ハローワーク鷹巣 24名） （隔週木曜日 ハローワーク鹿角 28名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （高校8校） （専門学校1校）	地区社会保険委員会定時総会においてねんきんネット等の周知を協力要請 （出席者23名） 全県で地域型年金委員会連絡会及び研修会を実施 （管内の出席者8名）	
30.7	秋田県社会保険協会主催の事業所新任担当者事務研修会へ講師を派遣し、制度説明を実施　（出席者20名） 情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の情報提供 成人式配付用のチラシ及びポスターについて管内市町村へ送付（計1,885枚）	出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者110名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者 91名） （毎週水曜日　　鹿角市役所 相談者 56名） 制度説明会 （毎週水曜日 ハローワーク鷹巣 17名） （隔週木曜日 ハローワーク鹿角 28名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （高校1校）		

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.8		出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者 91名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者 92名） （毎週水曜日　　鹿角市役所 相談者 42名） 制度説明会 （隔週水曜日 ハローワーク鷹巣 15名） （隔週木曜日 ハローワーク鹿角 36名） 事業所において事業所閉鎖に伴う離職予定者を対象に制度説明及び相談を実施 （対象者 24名）			
30.9	情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の情報提供	出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者 92名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者 74名） （毎週水曜日　　鹿角市役所 相談者 52名） 制度説明会 （隔週水曜日 ハローワーク鷹巣 31名） （隔週木曜日 ハローワーク鹿角 28名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （高校1校）	地区社会保険委員会能代山本支部研修会でねんきんネット利用案内等の周知を協力依頼　（出席者10名）	
30.10	秋田県退職教職員協議会主催の年金講座へ講師を派遣し、制度説明を実施 （出席者28名）	出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者106名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者105名） （毎週水曜日　　鹿角市役所 相談者 61名） 制度説明会 （隔週水曜日 ハローワーク鷹巣 43名） （隔週木曜日 ハローワーク鹿角 27名）	年金セミナーの開催 （花輪高校 受講者69名） 年金セミナー開催に向けたアプローチ （大学1校） （専門学校1校）		
30.11	管内市町村の国民年金事務担当者に向けた研修会を実施　（出席者9名） 大規模事業所へ「予約相談」「ねんきんネット」の周知用ポスター掲示及びチラシ設置の協力依頼 情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の情報提供	出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者 98名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者113名） （毎週水曜日　　鹿角市役所 相談者 51名） 制度説明会 （隔週水曜日 ハローワーク鷹巣 23名） （隔週木曜日 ハローワーク鹿角 26名） 事業所において事業所閉鎖に伴う離職予定者を対象に制度説明及び相談を実施 （対象者 11名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （高校5校）	秋田市において年金委員等表彰式及び秋田・鷹巣・大曲地区合同研修会を実施 （管内の出席者21名） 地区社会保険委員会鹿角支部研修会でねんきんネット利用案内等の周知を協力依頼　（出席者8名）	「ねんきん月間」の取組として、市内ショッピングセンター前においてリーフレットを配布 （配布数 300部）

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.12	公共機関へ「予約相談」「ねんきんネット」の周知用ポスター掲示及びチラシ設置の協力依頼。（大館・鹿角地区）	出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者 84名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者 83名） （毎週水曜日　鹿角市役所 相談者 52名） 制度説明会 （隔週水曜日 ハローワーク鷹巣 18名） （隔週木曜日 ハローワーク鹿角 21名）	年金セミナーの開催 （十和田高校 受講者85名） 年金セミナー開催に向けたアプローチ （大学1校） （高校4校） （専門学校2校）	年金委員（職域型）未設置の事業所へ勧奨文書を送付 （事業所169件）	
31.1		出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者101名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者 94名） （毎週水曜日　鹿角市役所 相談者 50名） 制度説明会 （隔週水曜日 ハローワーク鷹巣 19名） （隔週木曜日 ハローワーク鹿角 28名） 事業所において事業所閉鎖に伴う離職予定者を対象に制度説明及び相談を実施 （対象者 13名）	年金セミナーの開催 （能代工業高校 受講者97名） 年金セミナーの開催 （大館鳳鳴高校 受講者11名） 年金セミナーの開催 （大館国際情報学院高校 受講者129名）	地区社会保険委員会能代山本支部研修会で制度説明を実施 （出席者18名）	
31.2	秋田県社会保険協会主催の社会保険事務担当者講習会へ講師を派遣し、制度説明を実施 （出席者18名）	出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者107名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者 86名） （毎週水曜日　鹿角市役所 相談者 51名） 制度説明会 （隔週水曜日 ハローワーク鷹巣 30名） （隔週木曜日 ハローワーク鹿角 26名）	年金セミナーの開催 （小坂高校 受講者32名） 年金セミナーの開催 （大館桂桜高校 受講者202名） 年金セミナーの開催 （秋田しらかみ看護学院 受講者36名）	鷹巣地区地域型年金委員研修会を開催 （出席者12名）	
31.3	管内市町村の国民年金事務担当者に向けた説明会を開催　（出席者 9名） 第２回秋田社会保険・労働保険徴収事務連絡協議会	出張年金相談の開催 （毎週火、金曜日 能代市役所 相談者113名） （毎週月、木曜日 大館市役所 相談者 97名） （毎週水曜日　鹿角市役所 相談者 48名） 制度説明会 （隔週水曜日 ハローワーク鷹巣 26名） （隔週木曜日 ハローワーク鹿角 41名）			

大曲年金事務所

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.4		・出張年金相談の開催 (毎週火曜日 横手市役所　　相談者23名) (毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者45名) ・制度説明会 (毎週水曜日 ハローワーク大曲123名) (毎週木曜日 ハローワーク横手113名)		・地区社会保険委員会役員会で重点的活動内容の伝達と連携強化に関する依頼を実施 (出席者13名)	
30.5	・情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の提供	・出張年金相談の開催 (毎週火曜日 横手市役所　　相談者30名) (毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者61名) ・制度説明会 (毎週水曜日 ハローワーク大曲104名) (毎週木曜日 ハローワーク横手116名)			
30.6	・ねんきんネット、予約相談の利用促進について管内全市町村へポスター、リーフレットの設置と連携強化を依頼 ・秋田ふるさと村において管内事業所の事務担当者に対し制度説明を実施 (出席者194名) ・大仙市大曲中央公民館において管内事業所の事務担当者に対し制度説明を実施 (出席者178名)	・出張年金相談の開催 (毎週火曜日 横手市役所　　相談者19名) (毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者42名) ・制度説明会 (毎週水曜日 ハローワーク大曲 84名) (毎週木曜日 ハローワーク横手 66名)		・職域型年金委員研修会を実施 地域型への継続委嘱について説明　　(出席者86名) ・地区委員会湯沢雄勝支部総会で予約相談、ねんきんネットの利用促進等について連携強化を依頼　　(出席者16名) ・地域型年金委員研修会及び連絡会を実施　(管内出席者5名)	・ねんきんネット、エッセイ募集について管内の県集客施設、ＪＲ各駅及び道の駅、計24か所にポスター掲示を依頼
30.7	・情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の提供 ・秋田県社会保険協会主催の事業所新任担当者事務研修会へ講師を派遣 (出席者40名) ・国民年金新任事務担当者研修会の実施 (管内参加者　14名)	・出張年金相談の開催 (毎週火曜日 横手市役所　　相談者25名) (毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者43名) ・制度説明会 (毎週水曜日 ハローワーク大曲 68名) (毎週木曜日 ハローワーク横手 77名)	・年金セミナー開催依頼文書の送付と電話によるアプローチ　(専門校2校、高校13校)	・地区委員会横手平鹿支部総会及び大曲仙北支部総会で予約相談、ねんきんネットの利用促進等について連携強化を依頼 (出席者37名)	・予約相談、ねんきんネットの利用促進について管内市町村と関係施設へのポスター、パンフレットの設置を依頼　47施設

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.8		・出張年金相談の開催 (毎週火曜日 横手市役所　　相談者18名) (毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者50名) ・制度説明会 (毎週水曜日 ハローワーク大曲 72名) (毎週木曜日 ハローワーク横手 70名)	・年金セミナー開催について電話でアプローチ (高校1校)		
30.9	・情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の提供	・出張年金相談の開催 (毎週火曜日 横手市役所　　相談者14名) (毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者42名) ・制度説明会 (毎週水曜日 ハローワーク大曲 64名) (毎週木曜日 ハローワーク横手 80名)		・年金給付について管内の地域型年金委員へ研修を実施 (出席者8名) ・地域型年金委員連絡会を実施 (出席者8名)	・予約相談、ねんきんネットの利用促進について管内の医療機関、商工会議所等へポスター、パンフレットの設置を依頼 55機関
30.10	・ねんきん月間、年金の日について、管内全市町村へポスター、リーフレットの設置を依頼	・出張年金相談の開催 (毎週火曜日 横手市役所　　相談者24名) (毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者50名) ・制度説明会 (毎週水曜日 ハローワーク大曲 78名) (毎週木曜日 ハローワーク横手 60名)			・予約相談、ねんきんネットの利用促進について管内の郵便局、労働金庫へポスター、パンフレットの設置を依頼13機関
30.11	・情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の提供 ・秋田県都市国民年金協議会への参画 (管内参加者　5名)	・出張年金相談の開催 (毎週火曜日 横手市役所　　相談者20名) (毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者43名) ・制度説明会 (毎週水曜日 ハローワーク大曲 69名) (アシストハローワーク　　36名) (毎週木曜日 ハローワーク横手 87名)	・年金セミナー開催について電話でアプローチ (専門校2校、高校7校)	・秋田市において年金委員等表彰式、研修会を実施 (管内の出席者13名) ・地区委員会横手平鹿支部会員事業所の事務担当者へ年金給付等について研修を実施 (出席者47名) ・管内の職域型年金委員健康保険委員へ厚年適用関係届出等について研修を実施 地域型への継続委嘱について説明　　(出席者141名) ・ねんきん月間、年金の日のポスター、ねんきんネットのパンフレット及びかけはしを地域型年金委員に送付し活動依頼 41名	・大仙市市民活動交流拠点センターでねんきん月間、年金の日に関するパネル展を実施 ・電光掲示板等によるねんきん月間、年金の日の周知

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.12	・管内市町村事務担当者へ障害年金の裁定請求受付について説明会を実施。 （管内参加者　14名）	・出張年金相談の開催 （毎週火曜日 横手市役所　　相談者17名） （毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者39名） ・制度説明会 （毎週水曜日 ハローワーク大曲 65名） （毎週木曜日 ハローワーク横手 70名）	・年金セミナーの実施 （県立大曲工業高校 受講者137名） （県立横手清陵学院 受講者172名） （県立大曲技術専門校 受講者37名）	・平成30年1月以降の新規適用事業所へ文書により年金委員の推薦を依頼　12件 ・湯沢市へ地域型年金委員の推薦について電話で依頼　1件	・地区社会保険委員会が主催する「健康フェア」にねんきんネットのパンフレット100部を設置 ・電光掲示板等による予約相談、保険料の納期内納入年金ネットの利用促進を周知
31.1	・情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の提供	・出張年金相談の開催 （毎週火曜日 横手市役所　　相談者19名） （毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者39名） ・制度説明会 （毎週水曜日 ハローワーク大曲 77名） （毎週木曜日 ハローワーク横手 73名）	・年金セミナーの実施 （県立大曲高校 受講者61名） （県立大曲高校 受講者47名） （県立衛生看護学院 受講者38名）		
31.2		・出張年金相談の開催 （毎週火曜日 横手市役所　　相談者16名） （毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者42名） ・制度説明会 （毎週水曜日 ハローワーク大曲 74名） （毎週木曜日 ハローワーク横手 67名）	・年金セミナーの実施 （県立平成高校 受講者89名） （県立雄物川高校 受講者63名）	・地区委員会大曲仙北支部会員事業所の年金委員へ年金給付等について研修を実施 （出席者18名） ・秋田県社会保険協会主催の社会保険事務担当者講習会でお客様相談室職員が年金給付の基礎知識について説明を実施 （出席者33名）	
31.3	・情報誌「かけはし」による管内市町村への広報素材等の提供 ・管内市町村事務担当者研修会の実施 （管内参加者　15名）	・出張年金相談の開催 （毎週火曜日 横手市役所　　相談者18名） （毎週水曜日 湯沢商工会議所相談者41名） ・制度説明会 （毎週水曜日 ハローワーク大曲 60名） （毎週木曜日 ハローワーク横手 67名）		・地区委員会湯沢雄勝支部会員事業所の年金委員へ年金給付等について研修を実施 （出席者36名） ・地域型年金委員へ年金給付の研修を実施　（出席者11名） ・地域型年金委員連絡会を実施。年金セミナー実施状況など意見交換を実施　（出席者11名） ・地域型年金委員連絡会の欠席委員に「かけはし」を送付し活動依頼　18名	

本荘年金事務所

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.4		制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘155名）			
30.5	情報誌「かけはし」による管内２市への広報素材等の提供	制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘119名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者47名）		地区委員会役員会で予約相談の利用促進等について連携強化を依頼（出席者13名）	
30.6	由利本荘市文化交流館「カダーレ」において管内事業所の事務担当者に対し制度説明を実施　（出席者157名）	制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘64名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者32名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （大学1校、高校5校）	職域型年金委員に対して研修を実施（出席者41名） 地域型年金委員研修会及び連絡会を実施　（管内出席者2名）	
30.7	秋田県社会保険協会主催の事業所新任担当者事務研修会へ講師を派遣 （出席者２１名） 情報誌「かけはし」による管内２市への広報素材等の提供	制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘69名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者22名）		地区委員会役員会及び女性部会でねんきんネットの利用促進等について連携強化を依頼（出席者10名）	

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.8		制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘82名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者26名）		地域型年金委員に対して活動資料の送付（20名） 職域型年金委員に対してねんきんネット、予約制などの利用ご案内を送付（184名）	「年金の相談予約」「ねんきんネットの利用促進」の周知のため、国や自治体等の関係機関、郵便局、金融機関、医療機関、ＪＲ駅等へポスターやリーフレット設置の依頼
30.9	情報誌「かけはし」による管内２市への広報素材等の提供	制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘80名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者18名）	年金セミナー開催に向けたアプローチ （看護学校1校、高校5校）	社会保険委員会会員事業所の女性年金委員および社員を対象に研修会を実施 （参加者53名）	
30.10		制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘90名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者21名）			
30.11	情報誌「かけはし」による管内２市への広報素材等の提供	制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘66名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者13名）		秋田市において年金委員等表彰式を実施 （管内の出席者5名） 職域型年金委員に対して研修を実施　（出席者35名） 地域型年金委員に対し研修を実施　（出席者6名） 職域型および地域型年金委員に対してねんきん月間の周知依頼のポスター、リーフレットを送付（221名）	「ねんきん月間」の取組として、由利本荘市内の大型スーパーにおいて年金月間リーフレットを配布 （配布数　３３６部）

年月	地域連携	地域相談	年金セミナー	年金委員活動支援	その他
30.12		制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘54名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催 併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者14名）	由利高等学校で3年生168名を対象に年金セミナー開催		
31.1	情報誌「かけはし」による管内２市への広報素材等の提供	制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘85名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催 併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者14名）	西目高等学校で3年生144名を対象に年金セミナー開催 本荘高等学校で3年生29名を対象に年金セミナー開催	地区委員会役員会で国民年金保険料の産休免除制度について研修を実施 （出席者16名）	
31.2	秋田県社会保険協会主催の年金セミナーへ講師を派遣 （出席者１４名）	制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘89名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催 併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者14名）	仁賀保高等学校で3年生92名を対象に年金セミナー開催 由利本荘看護学校で3年生29名を対象に年金セミナー開催	被保険者20名以上の年金委員設置事業所119社へ、ねんきんネット、予約相談について利用促進の文書を送付	被保険者20名以上の年金委員未設置事業所95社へねんきんネット、予約相談について利用促進の文書を送付
31.3	情報誌「かけはし」による管内２市への広報素材等の提供 管内2市国民年金事務担当者研修会の開催 （出席者7名）	制度説明会 （毎週水曜日　ハローワーク本荘68名） ハローワーク本荘にて求職活動支援セミナーの一環として年金制度説明会を開催 併せて、ねんきんネットのパンフレットを配布し、制度説明　（出席者21名）			被保険者15から19名の年金委員未設置事業所49社へねんきんネット、予約相談について利用促進の文書を送付